

生活交通確保維持改善計画（案） （地域内フィーダー系統確保維持計画）

1 目的及び必要性

徳島市では、平成 21 年度に策定（平成 26 年 9 月見直し）した「徳島市地域公共交通総合連携計画」（以下「連携計画」という。）に基づき、公共交通の確保・維持に向けて取り組んできた。

連携計画では、市域の公共交通の中心的役割を担う徳島市営バス路線の再編に取り組み、平成 23 年 10 月から川内線・宮島線を「川内循環線」に再編し、平成 26 年 10 月からは、「渋野線」の運行ルートを延伸するなど見直しを行い、それぞれ民間委託により運行を開始している。

また、公共交通不便地域の減少に向けた取り組みとして、地域住民等によるコミュニティバス等の運行に対するサポート事業を実施しており、平成 23 年 12 月から応神地区で運行を開始している「応神ふれあいバス」、令和 2 年 4 月から上八万地区で運行を開始している「上八万コミュニティバス」に対する支援を行い、地域住民の買い物、通院等の移動手段の確保を図っている。

連携計画の計画期間が令和元年度で終了を迎えることから、徳島市の地域公共交通の将来を見据え、まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、公共交通の新たな計画となる「徳島市地域公共交通網形成計画」（以下「網形成計画」）を令和 2 年 3 月に策定した。

網形成計画の期間においても、これらの事業を推進するにあたり、国の地域公共交通確保維持事業を活用するため、「地域内フィーダー系統確保維持計画」を策定し、地域特性や実情に応じた最適な生活交通の確保・維持を図るとともに、事業の円滑な推進を図る。

2 目標及び効果

(1) 事業の目標

川内循環線の利用者を 73,213 人（令和 3 年度実績：58,147 人）とする。
渋野線の利用者を 44,601 人（令和 3 年度実績：26,590 人）とする。
応神ふれあいバスの利用者を 2,146 人（令和 3 年度実績：2,025 人）とする。
上八万コミュニティバスの利用者を 991 人（令和 3 年度実績：345 人）とする。

（網形成計画 P87 評価指標⑤ 市バスの 1 日乗車人員 参照）

フィーダー系統路線の利用者が増加することにより、市バスの 1 日乗車人員の増加が図られる。

(2) 事業の効果

①川内循環線

循環線による新規ルートを開設し、さらに令和 4 年 10 月から延伸をすることにより、川内町内の移動が容易となるとともに、沿線の観光施設等へのアクセス向上が引き続き図られる。

②渋野線

新規ルートを開設したことにより、観光施設へのアクセス向上や公共交通不便地域の利便性向上が引き続き図られる。

③応神ふれあいバス

地域の実情に応じた路線を設定したことにより、きめ細かな日常生活の移動手段の確保と公共交通不便地域の解消が引き続き図られる。

④上八万コミュニティバス

令和 4 年 5 月から新規ルートでの運行を開始したことにより、きめ細かな日常生活の移動手段の確保と公共交通不便地域の解消が引き続き図られる。

3 目標を達成するため行う事業及びその実施主体

- ・バス路線網の整理・再編（徳島市、バス事業者）
（網形成計画 P67 参照）
- ・コミュニティバスの運行・維持（地域住民、交通事業者、徳島市）
（網形成計画 P70 参照）
- ・ICTを活用した「バス情報の見える化」（徳島市、バス事業者）
（網形成計画 P81 参照）
- ・公共交通に親しみ、魅力を感じてもらおうイベントの開催（徳島市、交通事業者、関係機関）
（網形成計画 P82 参照）

・川内循環線、渋野線

利便性向上を図るため、利用実態調査を実施する。また、利用実態をより詳細に把握するため、乗降センサーを各車両に設置する。また引き続き、Google マップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報及びデジタルサイネージの表示情報の充実に努め、利用者の増加及び幹線系統への接続利便性向上を図る（徳島市）。

・応神ふれあいバス

広報紙、折り込み広告などによる、周辺住民への周知・広報に努めるとともに、Google マップでの乗換案内サービスの周知・広報に努め、新規利用者の増加及び幹線系統への接続利便性向上を図る（応神ふれあいバス運行協議会）。

・上八万コミュニティバス

上八万まちづくり協議会や町内会など上八万地区の地域組織を通じ、回覧板やチラシによる広報を行う。また、ルート変更後に増加した利用者数を維持できるよう、利用者を対象にしたイベント（くじ引き等）の実施を検討する。さらには、Google マップでの乗換案内サービスの周知・広報に努め、利用者の増加及び幹線系統への接続利便性向上を図る（上八万バス運営委員会）。

4 運行系統の概要及び運行予定者

運行予定者名	運行系統名	地域間幹線／地域内フィーダーの別
徳島バス株式会社	川内循環線	地域内フィーダー
	川内循環線（加賀須野経由）	〃
	渋野線	〃
有限会社 東丸タクシー	応神ふれあいバス （マルナカ成長店行き）	〃
	応神ふれあいバス （キョーエイ北島店行き）	〃
大木タクシー 有限会社	上八万コミュニティバス （北ルート）	〃
	上八万コミュニティバス （南ルート）	〃
	上八万コミュニティバス （東ルート）	〃

5 事業に要する費用の負担者

(1) 川内循環線、渋野線

補助対象期間の経常費用と経常収益の差額（欠損額）の1／2を国庫補助額とし、残りを徳島市が負担する。

(2) 応神ふれあいバス

補助対象期間の経常費用と経常収益の差額（欠損額）の1／2を国庫補助額とし、残りを運営主体の応神ふれあいバス運行協議会が負担する。

なお、応神ふれあいバス運行協議会の運営費の一部を徳島市が負担する。

(3) 上八万コミュニティバス

補助対象期間の経常費用と経常収益の差額（欠損額）の1／2を国庫補助額とし、残りを運営主体の上八万バス運営委員会が負担する。

なお、上八万バス運営委員会の運営費の一部を徳島市が負担する。

6 事業を行う徳島市の概要

人口集中地区以外人口 74,165人

以上